

英会話 I (English Conversation I)		1年・通年・1単位・必修 機械、電気工学科・担当 神澤 和明
〔準学士課程 (本科1～5年) 学習教育目標〕 (3)	〔システム創成工学教育プログラム 学習教育目標〕	〔JABEE 基準〕
<p>〔講義の目標〕 英語のオーラル要素に重点をおいて授業を進めてゆく。 英語を使ったコミュニケーション能力を伸ばしてゆくために、会話の基本となる表現を暗誦し、学生同士で実際にそれを使って会話することを通して習得してゆくことを目的とする。</p>		
<p>〔講義の概要〕 様々な状況を設定し、そうした場面での会話や、自己表現のエッセンスとなる「基本文」を暗誦させる。 さらにそれを基にヴァリエーションの会話文を作らせ、互いに語り合わせる。 教師は状況設定や、オリジンとなる基本文を提供し、会話の内容やヴァリエーションの表現は学生が自主的、積極的に作り出してゆくよう、ガイドする。 表現を豊かにする手段として、視聴覚教材やディベート、またドラマの利用も考えている。</p>		
<p>〔履修上の留意点〕 相手に通じるだけでなく、納得される文を作ってゆくには、英語用法の基本的な「約束」を知っている必要がある。また、日本語でも同じであるが、多くの単語、言い回しを知っていることは、自分の表現をよりの確、かつ豊かなものにする。従って、語彙力を増やすことは英会話においても意義深い。 また、コミュニケーションを目的とする授業であるから、引込み思案では授業効果があがらない。積極的に授業に参加することが必要である。</p>		
<p>〔到達目標〕 「講義の目標」で示したことをできるだけ実現したい。 学校の授業だけで「英会話」ができるとは考えないが、この勉強を基にすればそれは可能であるという意識をもたせたい。 そして学生たちが学年を上がる毎に、より高い英語力を身につける土台作りとなりたい。</p>		
<p>〔評価方法〕 授業での取り組み、発表 (60%) と、随時行う小テスト (40%) に基づき、総合的に評価する。</p>		
<p>〔教科書〕 自作プリントを配布してテキストとする。 授業の進み方に応じて、適宜、教材プリントを追加作成してゆく。</p>		
<p>〔関連科目〕 「英語 I」「国語 I」が重要関連科目であることは当然である。 それ以外にも、自己表現に役立つことはすべてが学習対象であると考えて欲しい。</p>		

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	ガイダンス	授業の進め方について	
第2週	自分について語る	SVC, SCO の基本的な構文をもとに、自己紹介したり相手にたずねたりする。	
第3週	相手についてたずねる。		
第4週	第三者について語る。	SVOO, SVOC の基本的な構文も使って、会話の内容を増やしてゆく。	
第5週	それまでの確認。		
第6週	道をたずねる。教える。	日常で出会う可能性の高い、英語を使う状況での基本的な表現の習得。	
第7週	駅での会話。		
第8週	テスト1		
第9週	過去の話、未来の話	過去、未来、進行形、完了形が表す内容の違いを意識してみる。	
第10週	経験したことを話す。		
第11週	受動態を練習する。	受動態の表現を使ってみる。	
第12週	それまでの確認。		
第13週	簡単な歌か詩	歌を使って、単語や言い回しを覚えてゆく。上手に歌えなくて良いから、歌詞を暗誦する。	
第14週	簡単な歌か詩		
第15週	テスト2		
第16週	テスト3	夏期休暇明けテスト	
第17週	Discussion の練習	英語で discussion する練習。	
第18週	Discussion の練習		
第19週	Debate の練習	英語で debate する練習。	
第20週	Debate の練習		
第21週	電話の受け答え	日常の勤務で出会う可能性の高い、英語を使う状況での基本的な表現の習得。	
第22週	それまでの確認		
第23週	テスト4		
第24週	英語劇	短い台本を暗記して、劇形式で学習する。場合によっては、スキット暗誦になるかもしれない。暗誦を基本とするが、"theatre game" を導入して improvisation を助長する形になるかもしれない。	
第25週	英語劇		
第26週	英語劇		
第27週	英語劇		
第28週	発表練習	自分の意見を英語で発表する練習。	
第29週	発表練習		
第30週	テスト5		

*4:完全に理解した、3:ほぼ理解した、2:やや理解できた、1:ほとんど理解できなかった、0:全く理解できなかった、

(達成)

(達成)

(達成)

(達成)

(達成)

英会話 I (English Conversation I)		1年・通年・1単位・必修 電子制御、物質化学工学科 担当・近藤暁子						
[学習・教育目標との対応] (3)	[システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標]	[JABEE 基準との対応]						
<p>[講義の目的] 英語独特の音声変化やリズム・ストレスに注目し、その体系的な練習を通して、リスニング力と発音の向上を目的とする。</p>								
<p>[講義の概要] 英語の歌や TOEIC 形式のリスニング練習を使用しながら、聞き取ることを難しくしている英語の発音の特徴を学ぶ。歌や、その歌手の紹介のリスニング練習を行い、その題材をもとにしたスピーキングの練習も行う。</p>								
<p>[履修上の留意点] リスニングやスピーキングなどのオーラルスキルの向上には、多くの量聞き、話すことが重要であるので、本講義においては授業中の積極的な参加が望まれる。オーラルスキルにフォーカスを置くため、語法や文法の解説は必要最低限になるので、各自で辞書や参考書を携帯すること。</p>								
<p>[到達目標] 英語特有の音変化、リズム、ストレスの特徴を理解し、語の歌、簡単な会話を理解することができる。また、そうした特徴に気をつけて簡単な会話ができるようになることを目指す。</p>								
<p>[評価方法]</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">Class participation</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>Presentation</td> <td style="text-align: right;">20%</td> </tr> <tr> <td>Review Test</td> <td style="text-align: right;">50%</td> </tr> </table>			Class participation	30%	Presentation	20%	Review Test	50%
Class participation	30%							
Presentation	20%							
Review Test	50%							
<p>[教科書] Hit Parade Listening (MACMILLAN LANGUAGE HOUSE)</p> <p>[補助教材・参考書] プリント</p>								
<p>[関連科目] 言語系科目全般</p>								

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	ガイダンス、自己紹介	授業のガイダンス、自己紹介	
第2週	短縮形の音(1)	主語と結びつく be, have, had, will...etc.	
第3週	短縮形の音(2)	Listening “Top of the World”	
第4週	ひとつになる音(1)	/t/, /s/, /d/, /s/ + /j/	
第5週	ひとつになる音(1-2)	Listening “Hero”	
第6週	ひとつになる音(2-1)	強母音 + nt + 弱母音	
第7週	ひとつになる音(2-2)	Listening “I Want It That Way”	
第8週	Review Test 1		
第9週	ひとつになる音(3-1)	wanna, gonna など	
第10週	ひとつになる音(3-1)	Listening “Bye, Bye, Bye”	
第11週	聞こえなくなる音(1-1)	破裂音の脱落	
第12週	聞こえなくなる音(1-1)	Listening “I Just Called to Say I Love You”	
第13週	聞こえなくなる音(2-1)	調音点が近い子音の連続	
第14週	聞こえなくなる音(2-2)	Listening “Change the World”	
第15週	Review Test 2		
第16週	つながる音(1-1)	子音 + 母音(2 語)	
第17週		“I Will Always Love You”	
第18週	つながる音(1-1)	子音 + 母音(3 語)	
第19週		“Woman”	
第20週	紛らわしい子音(1-1)	/l/と/r/の区別	
第21週	紛らわしい子音(1-1)	TOEIC Exercise	
第22週	Review Test 3		
第23週	弱くなる音(1-1)	代名詞(he, her)の/h/の脱落	
第24週	弱くなる音(1-2)	“When a Man Loves a Woman”	
第25週	やわらかくなる音(1-1)	母音にはさまれた/t/の変化	
第26週	やわらかくなる音(1-2)	“Heal the World”	
第27週	紛らわしい子音(2-1)	/s/と/th/の区別	
第28週	紛らわしい子音(2-2)	TOEIC Exercise	
第29週	Review Test 4		
第30週	Wrap-up Session		

* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった.
(達成) (達成) (達成) (達成) (達成)

英会話 I (English Conversation I)		1 年・通年・1 単位・必修 情報工学科・担当：中川 朗子
[準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標] (3)	[システム創成工学教育プログラム 学習・教育]	[JABEE 基準]
<p>[講義の目的]</p> <p>この講義の目的は、Toeic の教材プリントを使用することで、英語のリスニング能力、スピーキング能力、リーディング能力の基礎を養うことです。Toeic は日常生活の様々な状況での英会話を扱っているため、各々の具体的な状況で使われる英単語、英語表現等を学ぶことで、英会話の発話力の基礎を身に付けることを目指します。</p>		
<p>[講義の概要]</p> <p>Toeic の問題形式、Part1 Photographs (写真描写問題)、Part 2 Question – Response (応答問題)、Part 3 Short Conversation (会話問題)、Part 4 Short Talks (説明文問題)、Part 5 Incomplete Sentence (短文穴埋め問題)、Part 6 Text Completion (長文穴埋め問題)、Part 7 (長文読解問題)に従って、授業を行います。分かりやすく説明し、学生の理解を確かめながら、ゆっくりと授業を進めたいので、学生は自ら学習する習慣を身に付けるようにして欲しい。</p>		
<p>[履修上の留意点]</p> <p>毎時間授業中に問題をやってもらうことになるので、英和辞典、或いは、その電子辞書は必ず持参すること。やや難しい英文を扱うので、板書事項は必ずノートに書き取り、覚えるようにして欲しい。</p>		
<p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Toeic の問題形式にできるだけ早く慣れて、それに対する理解力を身に付けること。 ・ 日常生活での様々な状況で使用される英単語や英語表現や英文法などをできるだけ覚え、自ら使えるようにすること。 		
<p>[評価方法]</p> <p>定期試験(60%)と授業中の態度や発表状況(40%)で総合的に評価する。</p>		
<p>[教科書]</p> <p>Hello!! TOEIC Test (朝日出版社)</p>		
<p>[関連科目]</p> <p>英語 I に関連するが、英語 I や英会話に関係なく、基礎的な語彙や慣用表現や文法をできるだけ沢山覚え、自分でも使えるように反復練習して欲しい。</p>		

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価 *
第1週	ガイダンス UNIT 1	講義の説明、Part 1	
第2週	UNIT 1	Part 2	
第3週	UNIT 1	Part 3	
第4週	UNIT 1	Part 3, Part 4	
第5週	UNIT 1	Part 4, Part 5	
第6週	UNIT 1	Part 6, Part 7	
第7週	UNIT 1	Part 7	
第8週	UNIT 1	Part 7	
第9週	UNIT 2	Part 1	
第10週	UNIT 2	Part 2	
第11週	UNIT 2	Part 3	
第12週	UNIT 2	Part 3, Part 4	
第13週	UNIT 2	Part 4, Part 5	
第14週	UNIT 2	Part 6, Part 7	
第15週	UNIT 2	Part 7	
前期期末試験			
第16週	UNIT 3	Part 1	
第17週	UNIT 3	Part 2	
第18週	UNIT 3	Part 3	
第19週	UNIT 3	Part 3, Part 4	
第20週	UNIT 3	Part 4, Part 5	
第21週	UNIT 3	Part 6, Part 7	
第22週	UNIT 3	Part 7	
第23週	UNIT 3	Part 7	
第24週	UNIT 4	Part 1	
第25週	UNIT 4	Part 2	
第26週	UNIT 4	Part 3	
第27週	UNIT 4	Part 3, Part 4	
第28週	UNIT 4	Part 4, Part 5	
第29週	UNIT 4	Part 6, Part 7	
第30週	UNIT 4	Part 7	
学年末試験			

*4: 完全に理解した, 3: ほぼ理解した, 2: やや理解できた, 1: ほとんど理解できなかった, 0: 全く理解できなかった.

(達成)

(達成)

(達成)

(達成)

(達成)